

平成22年度 環境学習関連事業 (分野別)

(ジャンル)	(キーワード)
1 自然環境	自然や動植物とのふれあい・観察、自然環境の保全など
2 水環境	水質、下水道など
3 大気環境	大気汚染と法規制など
4 廃棄物・リサイクル	ごみの減量化、グリーン購入、3R推進など
5 地球環境	酸性雨、地球温暖化、CO2削減行動など
6 エネルギー	自然エネルギー、バイオマスエネルギーなど
7 産業と環境	環境経営、農林水産業など
8 歴史と環境	地域固有の生活文化、文化財など
9 生活と環境	消費、食文化、住環境など
10 その他	総合的な内容など上記の分類に当てはまらないもの

1 自然環境

事業名(=22年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名
1 森林環境学習「やまのこ」事業	県内小学校 4年生児童	森林をはじめとする環境に理解を深めるとともに、人と豊かに関わる力を育むため、学校教育の一環として、県内小学校4年生を対象に、森林体験交流施設やその周辺の森林を使った体験型の学習を展開する。	琵琶湖環境部 森林政策課
2 協働の森づくり普及啓発事業「森づくり県民講座」	一般県民	森林の持つ多面的機能を高度に発揮させる森林づくりを県民全体で取り組んでいくという気運を高めるため、一般県民等に対して、森林の知識及び森づくり活動をする上での知識を得る機会を提供する。	琵琶湖環境部 森林政策課
3 緑のダムづくり啓発活動(フクロウ先生の森・守塾)	小学生 一般県民	自助共助による防災対策の推進や、緑のダムづくりによる防災対策がいかに重要であるかを地域へ普及するとともに、林野公共事業の推進が本県の環境・防災対策上いかに重要な位置づけにあるかを県民に向け発信していく。	琵琶湖環境部 森林政策課 森林保全課
4 ビジターセンター等管理運営事業	一般	自然とふれあう機会を提供することにより自然環境保全意識を高めるため、三島池ビジターセンター(米原市)の管理運営を行う。	琵琶湖環境部 自然環境保全課
5 朽木いきものふれあいの里管理運営事業	一般	自然とふれあう機会を提供することにより自然環境保全意識を高めるため、自然観察会・里山保全活動・幼児の体験的環境学習指導者講習会、広報紙の発行、施設管理等を行う。	琵琶湖環境部 自然環境保全課
6 野生鳥獣保護対策事業(介護ボランティア講習会、県民啓発)	一般県民	野生鳥獣に対する理解を深め、共存について住民との合意形成を図ることを目的として、講習(野生鳥獣介護ボランティア講習)を行う。	琵琶湖環境部 自然環境保全課
7 野生鳥獣保護対策事業(愛鳥モデル校愛鳥講演会)	愛鳥モデル校(小中11校)	子どもたちの鳥を大切にすることを目的として、愛鳥講演会、野鳥観察会、巣箱の設置方法の講習、キジの放鳥への参加募集、参考図書やフィルムの貸出を行う。	琵琶湖環境部 自然環境保全課
8 鳥獣保護思想の普及啓発(愛鳥週間ポスターコンクールの実施)	小・中・高・盲・聾・養護学校の児童生徒	子どもたちの鳥を大切にすることを目的として、愛鳥週間ポスターの募集、表彰を行う。	琵琶湖環境部 自然環境保全課
9 生物多様性に配慮した地域づくり推進事業	一般県民	国際生物多様性年である本年、10月に名古屋市で生物多様性条約締約国会議が開催される。これを契機として、県民の生物多様性の認識を高め、滋賀の自然の豊かさや文化を情報発信するため、県内の巡回展示や名古屋市でのブース展示、会議参加者を滋賀県に招いての体験的視察を実施する。	琵琶湖環境部 自然環境保全課
10 漁民の森づくり	漁業者 一般	琵琶湖の水涵養による漁場環境保全の一環として、漁業者が主体となって植樹に取り組み、漁業者と森林事業者、県民の交流と漁場環境保全の意識啓発の場とする。	農政水産部 水産課
11 魚を学ぶ体験学習促進事業	小中学生	醒井養鱒場のさかな学習館、飼育池等の場内施設を活用して小中学生等に対して県内の河川等の魚類や漁業に関する知識の普及と理解に努める。	農政水産部 水産課
12 豊かな内水面漁業情報発信事業	小中学生	滋賀県河川漁業協同組合連合会に委託し、遊漁や内水面漁業の振興を図るため、ホームページや広報誌による遊漁の紹介を行うとともに、放流体験学習会や釣り教室を開催する。	農政水産部 水産課

13	農村地域住民活動支援事業	県内12流域の農村を中心とした団体および地域住民	土地改良事業を実施する団体による農村環境の保全整備を推進する自主的な活動の定着や、持続的な活動の定着を支援する。 農村環境の保全整備を推進するリーダーの育成支援活動を支援する専門家の登録派遣、情報の提供および研修会の開催支援 活動団体の支援体制整備	農政水産部	農村振興課
14	世代をつなぐ農村まるごと保全向上活動支援事業	地域住民(農家・非農家・土地改良区・JA・NPO等)で構成する活動組織	農地や農業用水などを守り、施設の長寿命化や農村環境の向上など、質を高める効果の高い共同活動を、子どもたちから高齢者までの様々な年齢層・立場の人たちの参加を得て取り組むことに対し、農地面積に応じて支援する。地域で取り組む活動を通して、将来の農村を担う子どもたちが、身近な田園環境に触れる機会を持てるように、要件を位置づけている。	農政水産部	農村振興課
15	家棟川ピオトープ自然観察会	一般県民	家棟川河口右岸に造成された家棟川ピオトープにて「人と自然との新たな関係の構築」を目的とした自然観察会を地域住民、専門家、行政の協働で実施する。	土木交通部	河港課
16	砂防出前講座	小中学生 教職員 災害時要援護者 施設職員 一般県民	近年多発する集中豪雨や地震により土砂災害はいつ起きても不思議ではない。県民一人一人の防災意識の向上を図り、土砂災害による死者0を目指すため、土砂災害についての学習の場を提供する。 プロジェクター等を用いて土砂災害の種類・前兆現象や避難行動の方法等をわかりやすく説明する。また、実際に現地において「砂防えん堤」や「よう壁工」等を見ながら、砂防施設の役割などについて学習する。	土木交通部	砂防課
17	びわこ地球市民の森のつどい	県民 森づくりサポーター 緑の少年団	春季における都市緑化推進運動の一環として、都市緑化の普及啓発を行うため「びわこ地球市民の森」においてつどいを開催し、植樹等森づくりの記録発表や記念植樹、森の自然観察(野外写生、森の生き物観察など)を実施する。	土木交通部	都市計画課
18	びわこ地球市民の森 森づくりサポーター活動開催	森づくりサポーター 県民	県民共有の自然的財産である「地球市民の森」を県民との協働で創造していくため、植樹された苗木の維持管理として施肥や除草を行うほか、自然教室を開催する。	土木交通部	都市計画課
19	水生生物調査用具の貸出	学校 地域団体等	水生生物調査を行う学校や地域団体等に対する、必要な用具(ルーペ、網、バット、ザル等)の貸し出し。	甲賀環境・総合事務所	環境課
20	水生生物調査用具の貸出	学校 地域団体等	水生生物調査を行う学校や地域団体等に、必要な用具(顕微鏡、網、バット、ザル等)を貸し出す。	東近江環境・総合事務所	環境課
21	水生生物調査用具の貸出	小学生 中学生 一般県民	水生生物観察会を行う団体等に必要な道具(バット、ザル、虫眼鏡、ピンセット等)を貸し出す。	湖東環境・総合事務所	環境課
22	水生生物調査用具の貸出	管内住民 NPO等	水生生物調査を行う学校や地域団体等に必要な用具(タモ網、バット、ザル等)を貸し出す。	湖北環境・総合事務所	環境課
23	甲賀森林塾	林業関係者等	森林の公益的機能の高度発揮を踏まえ、森林の管理、林業技術の向上のために研修会等を開催し、森林の維持管理技術を習得、伝承し、互いの情報交換を図る。	甲賀森林整備事務所	-
24	出前講座	小学生	田んぼの役割や田んぼの生き物の理解を深めるため、小学校に出向き出前講座を行う。	大津・南部農業農村振興事務所	田園振興課
25	環境学習会	地域住民	ほ場整備対象地域の田んぼや田んぼ周辺の動植物の観察および移植を行い、田んぼや田園環境の役割を認識するとともに、事業において環境に配慮する必要性を認識する。	湖東農業農村振興事務所	田園振興課
26	環境学習の場としての早崎ピオトープの活用	一般	県が試験的に湛水している早崎ピオトープには数多くの生物が生息しており、環境学習(生物観察会)の場として、自然環境の大切さを考えるきっかけとして活用してもらう。	湖北農業農村振興事務所	田園振興課
27	姉川ダム自然観察会	一般	ダム周辺の豊かな自然環境をフィールドとして自然観察会や地元特産の山菜料理の紹介などを行い、環境保全への意識を高め、上下流域地域の交流を深めて、水源地域の活性化を図る。	長浜土木事務所	河川砂防課(姉川ダム)

2 水環境

事業名(=22年度新規事業)		事業の対象	事業の内容	所属名	
1	琵琶湖講習	環境活動を行うNPO等	環境活動を行うNPO等の依頼に応じ、実施している試験研究などから得られた知見に基づき、研究職員が講習を行う。	琵琶湖環境部	琵琶湖環境科学研究センター
2	教員研修受け入れ	教職員	教員の身近な自然への興味関心を高めるとともに、より高度な博物館利用を促すことを目的として、教職員への研修を実施する。	琵琶湖環境部	琵琶湖博物館
3	体験学習・観察会・講座推進事業	来館の児童生徒 一般団体	子どもたちの身近な自然や暮らしへの興味関心を高め、フィールドへ誘うことを目的として、来館する児童・生徒、一般団体に対する体験学習や観察会・講座を実施するほか、体験学習プログラムの開発を行う。	琵琶湖環境部	琵琶湖博物館
4	学校サテライト博物館	県内学校	学校で展示会を開催し、教育課程に沿った環境学習を進めるとともに、教員の研修機会を設ける。また学校を含めた地域の環境リーダーを育成する。	琵琶湖環境部	琵琶湖博物館
5	流域アジェンダ策定・推進事業 (「琵琶湖流域ネットワーク委員会」の運営等に対する支援)	各流域協議会をはじめ、環境保全団体、企業、行政、個人等	「水」と「流域」を基本コンセプトとする本委員会に参加する個々の団体等の活動の活性化および各流域内外でのネットワーク化を図り、琵琶湖の総合保全のさらなる推進を目指す「琵琶湖流域ネットワーク委員会」の運営に対する支援を行う。	琵琶湖環境部	琵琶湖再生課
6	流域アジェンダ実践促進事業	流域住民	流域住民自らが流域における環境を柱とした生活文化の構築を目指すとともに、行政の実施する各種施策と車の両輪となり、琵琶湖の総合保全を推進することを目的として各流域協議会が「流域アジェンダ(行動計画)」を策定された。これに基づき実施される河川水質調査・河川美化活動等の実践活動に対する支援を行う。	琵琶湖環境部	琵琶湖再生課
7	水環境科学館管理運営業務	一般県民 小学生 中学生 家族 親子等	水環境保全の重要対策である下水道の普及啓発と県民の水環境保全意識向上を目的として、浄化センター見学会、エコトーク・エコワーク、こども科学教室、みずかんフェスティバル、水の科学とたのしいクッキング、みずかん工作教室、ポスターコンクール等を実施する。	琵琶湖環境部	下水道課
8	滋賀県こども環境特派員事業	小中高校生	ラムサール登録湿地である琵琶湖を有する本県で開催される、子どもを対象とする生物多様性に関する国際的なイベントに子ども達を派遣し、参加者間での交流を深める。	琵琶湖環境部	自然環境保全課
9	豊かな湖づくり活動推進事業	一般	第27回全国豊かな海づくり大会の理念を引き継ぎ、NPO、市民団体、漁業関係者等との協働のもと、新たな取り組みを交えた湖づくり活動推進事業を展開し、琵琶湖の水産資源の維持培養と、多様な生物がすみ琵琶湖の環境保全に対する意識や理解をより一層高める。	農政水産部	水産課
10	琵琶湖固有種ワカカで学ぶ南湖再生事業	一般	県民参加型事業として、夏休みに公募の親子を対象に学習会を開催する。また、県民や子ども達がチャーターした観光船に乗船し、環境学習を行うとともに船上からワカカ稚魚の放流を行う。	農政水産部	水産課
11	みずすまし構想推進事業	県内12流域の地域住民(農家・非農家・土地改良区・行政等)	環境と調和した農業の推進と琵琶湖の環境保全に資するため、農村地域の水質および生態系の保全を目的とした「みずすまし構想」の実現を目指し、地域住民との協働による実践活動の推進を行う。	農政水産部	農村振興課
12	湖南流域環境保全協議会環境学習事業	県民	「ふるさとの自然と水をよみがえらせよう」という行動指針に基づき、協議会との協働により、親子環境学習会等を開催する。	南部環境・総合事務所	環境課
13	東近江環境学習講座および体験交流事業	大人と子ども 一般住民	東近江地域の環境について、「山」、「川」、「里」、「湖」の観点から講座を開催し、点ではなく線や面というつながりを持ちながら、五感を使って理解を深める。	東近江環境・総合事務所	環境課
14	浄水場一般開放・施設見学	一般・団体	水道について理解を深めてもらうため、琵琶湖や野洲川から取水した水が水道水になる過程を浄水場で見学してもらう。一般開放は6/1～7の水道週間に実施している。団体の見学については年間を通して申込みがあれば実施している。	企業庁	-
15	水道出前講座	小学生	水道についての理解を深めるため、浄水場見学に来られない学校の希望により、当庁職員が教室に向いて、浄水場のしくみや仕事についての授業を行う。	企業庁	-

16	びわ湖フローティングスクール	小学5年生	学校教育の一環として、県内小学5年生を対象に、母なる湖・琵琶湖を舞台にして、学習船「うみのこ」を使った1泊2日の宿泊体験型の教育を展開する。びわ湖環境学習を通して環境に主体的にかかわる力と、ふれあい体験学習を通して人と豊にかかわる力の育成を図る。	教育委員会	学校教育課
17	総合教育センター研修	教職員	自然環境について、科学的な視点からの基礎や実践的な内容について研修し、指導力の向上を目指す。	教育委員会	学校教育課
18	環境教育副読本等開発	中学生	新教育課程における環境教育を有効に推進できるよう、中学生用環境教育副読本「あおい琵琶湖」を改訂し、各学校に配布する。	教育委員会	学校教育課
19	環境教育副読本「あおいびわ湖」等の活用	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	各学校における環境教育を充実・推進するために、環境教育副読本「あおいびわ湖(小学校編)」「あおい琵琶湖(中学校編)」「琵琶湖と自然(高等学校編)」を活用する。	教育委員会	学校教育課
20	環境教育モデル校の設置	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	小・中・高等学校・特別支援学校を対象として応募等により決定し、県内の学校における環境教育の推進を担う。各学校の実態や特徴を生かした創造的な実践活動を展開するとともに取り組みや成果を発表し、環境問題に関する児童・生徒・教員・県民等の意識の高揚と交流を図る。	教育委員会	学校教育課

3 大気環境

	事業名(=22年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名
1	全国星空継続観察(スターウォッチング・ネットワーク)	参加団体	大気環境保全に関する県民の意識を高めることを目的として、星空観察という身近な方法による大気環境の調査活動を実施する。(主催:環境省、(財)日本環境協会)	琵琶湖環境部 琵琶湖再生課

4 廃棄物・リサイクル

	事業名(=22年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名
1	環境にやさしい買い物推進事業	県民 事業者	ライフスタイルや社会のしくみを環境への負荷の少ないものへ転換していくため、「買い物」という誰もが関わりのある身近な行動からの取組を進める。(店頭啓発、店内での啓発イベント実施)	琵琶湖環境部 循環社会推進課
2	淡海エコフォスター事業	住民団体 企業団体等	環境美化に対する県民等の意識の高揚を図るとともに、ごみの散乱を防止するため、ボランティア団体に、定期的・継続的に道路・河川・湖岸等の公共的場所で、美化清掃活動を行っていただく。	琵琶湖環境部 循環社会推進課
3	環境美化活動推進事業	県民 美しい湖国をつくる会	ごみゼロの日、びわ湖の日および12月1日の、年3度の環境美化の日それぞれにおいて県下一斉清掃運動を実施、および「美しい湖国をつくる会」に対して補助する。	琵琶湖環境部 循環社会推進課

5 地球環境

	事業名(=22年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名
1	環境配慮型企業活動普及促進事業	事業者	教える企業・教えられる企業の輪づくりの仕組みを構築し、セミナーや勉強会、eラーニングツールの開発等を通して、県内中小企業者にCO2削減等の環境に配慮した取組を広く普及する。	琵琶湖環境部 温暖化対策課
2	エコカーマイスター講習	自動車販売店従業員	自動車販売店において、従業員が新車購入予定者に対し、自動車の環境情報を適切に説明できるよう指導・推進する者をエコカーマイスターとし、その人材育成を図る。地球温暖化対策、自動車環境情報、グリーン購入等について講義の後、終了試験を実施し、合格者に修了証を交付する。	琵琶湖環境部 温暖化対策課
3	エコドライブマイスター講習	県民 事業所従業員	自動車運転者がエコドライブの知識、技能を身につけ、会社や地域でエコドライブを指導、推進できる者をエコドライブマイスターとし、その人材育成を図る。地球温暖化対策、エコドライブ技術について講義を行い、運転教習を行って修了者に修了証を交付する。	琵琶湖環境部 温暖化対策課
4	地球温暖化防止出前講座	小・中学生 地域 企業	地球温暖化防止について、地球温暖化防止活動推進員等が講演やパネル展示、エネルギー比較実験、寸劇等により、温暖化のしくみが現状、対策等について、わかりやすく説明する。(国補助による地球温暖化防止活動推進センター直営事業)	琵琶湖環境部 温暖化対策課(滋賀県地球温暖化防止活動推進センター)

5	「みるエコおうみ」プログラム推進事業	県民	環境意識はあるものの行動に移せていない県民に対し、インターネット上で楽しみながら簡単にCO2削減に取り組めるプログラムを提供し、家族で実践行動に取り組んでもらう。	琵琶湖環境部	温暖化対策課
---	--------------------	----	---	--------	--------

6 エネルギー

	事業名(=22年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名	
1	バイオガス活用モデル展示事業	一般	バイオガス発電施設の実証展示を通じて、有機性資源の循環利用や畜産を核とした農業分野からの新エネルギー活用について啓発を行う。	農政水産部	畜産技術振興センター

7 産業と環境

	事業名(=22年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名	
1	びわ湖環境ビジネスメッセ開催事業	ビジネス関係者 公務員 一般	環境産業の振興を図るため、企業・大学研究機関・海外企業・団体による環境ビジネス見本市とセミナーを開催する。	商工観光労働部	新産業振興課
2	農業技術研究会	県民・関係機関	試験研究成果の発表を8部門で行う中で、特に環境にこだわった最新の農業技術をまとめて紹介する。	農政水産部	農業技術振興センター
3	農業大学校開放講座	県民	農業者をはじめとする一般県民に対して環境こだわり農業に関する理解を深めるとともに農業技術の修得するための講座を開催する。	農政水産部	農業技術振興センター

8 歴史と環境

	事業名(=22年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名	
1	文化財保存修理受託事業	一般	国・県指定の文化財建造物は、所有者によって日常管理や屋根葺替が適正に行われ、修理に際しても腐朽した木材のみ取り替え、健全な木材を極力再利用されて今日まで守り伝えられてきた。こうしたことを建造物の保存修理に際して行う、現場見学会や小中学生による体験学習、また、文化財講座を通して説明し、文化財保護への理解と、ものを大切に作る心の高揚を図る。	教育委員会	文化財保護課
2	「近江水の宝」調査活用事業	県民	琵琶湖およびその周辺に所在する多様な文化遺産の現状を調査により把握し、これを評価し、優れた遺産を「近江水の宝」として選定して顕彰する。これにより、文化遺産の教育、地域づくり、観光等への積極的な活用を図り、この地域資源化を目指す。	教育委員会	文化財保護課

9 生活と環境

	事業名(=22年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名	
1	自治振興交付金(たんぼのこ体験事業[農政課])	小学生	児童らが、農作物を「育て」、「収穫し」、「食べる」という一連の農業体験により農業への関心を高め、生命や食の大切さを学ぶ場を提供する。(対象経費に対して市町へ交付金を交付する。)	総務部	自治振興課
2	食育推進活動事業	幼児 小中高校生 大学生 一般	食生活に関する正しい知識や食習慣を身につけるため、本県の食育推進計画に基づき、食品関連事業者と協力した食環境の整備、各ライフステージの課題に応じた地域での食育実践活動を行う。	健康福祉部	健康推進課
3	びわ湖・里山観光振興特区集客交流産業立地促進事業	特区エリア内に立地する事業者	平成18年4月に認定を行った「びわ湖・里山観光振興特区計画」の推進を図るために、特区エリア内(高島市域)におけるエコツーリズム等集客交流産業に取り組む事業者の立地について、投資額の一部を助成し、観光入込客数、宿泊客数の増加を通じた地域経済活性化を目指す。	商工観光労働部	観光交流局
5	みんなが支える環境こだわり農業PR事業	一般	環境こだわり農業が滋賀県のスタンダードとなるように、消費者、実需者に環境こだわり農業の理念や取組についての理解の促進を図る。	農政水産部	農業経営課
6	ふれあい農業デー	県民	センターを開放して農業の試験研究を理解してもらう中で、特に環境にこだわった農業技術の展示解説を行う。	農政水産部	農業技術振興センター
7	茶業指導所参観デー	県民	茶業指導所を開放して農業とくに近江茶の試験研究を理解してもらう中で、特に環境こだわり農業の技術開発について展示解説を行う。	農政水産部	農業技術振興センター
8	都市漁村青年交流促進事業(マリンカレッジ)	県立大学生	水産業への理解と関心を深めることを目的に、滋賀県立大学の栄養士を目指す学生を対象に、県漁連青年会の協力のもと、湖魚をテーマにした学習会と料理教室を開催する。	農政水産部	水産課

9	棚田保全ネットワーク推進事業	棚田地域および一般	水資源の涵養、生態系の保全、農村景観の保全など多様な役割を担う県内の棚田を継続的に保全するため、地域住民と都市住民(ボランティア)の共同による棚田保全活動を支援するとともに、棚田保全に関する普及啓発を実施する。また、しが棚田トラスト制度のもと企業等から寄付金を募り、保全活動にかかる経費として活用する。	農政水産部	農村振興課
10	魚のゆりかご水田推進プロジェクト事業	地域住民および一般住民・小学生	地域住民や一般住民の環境意識の向上、子ども達の環境学習の場としての役割を有している、かつての水田と琵琶湖のつながりを復元する「魚のゆりかご水田」を推進するための支援を行う。	農政水産部	農村振興課
11	エコ交通推進事業	一般	鉄道やバス等の公共交通機関と自転車、徒歩等の組み合わせによる、人と環境にやさしく、利便性が高い交通体系の構築を図るための取組を支援する。	土木交通部	交通政策課
12	琵琶湖環状線小学生体験学習プログラム支援事業	小学校、特別支援学校(小学部)、および外国人学校等の教育施設(小学校就学年齢に相当する学年)	琵琶湖環状線を利用し、琵琶湖を中心とした滋賀県の地理・歴史・自然等についての学習を深めるとともに、小学生に環境に優しい公共交通である鉄道に親しむ機会を提供するため、琵琶湖一周体験学習等に要する鉄道運賃の一部を補助する。	土木交通部	交通政策課
13	地場農産物が支える学校給食モデル推進事業	農業者 小中学生	地元農産物を学校給食用食材として供給する地産地消活動を推進するとともに、児童や生徒との顔が見える信頼関係を高めるため、栽培ほ場や学校において農業体験などを通じた交流の場を提供し、農業への関心を高め食育の推進を図る。	甲賀農業農村振興事務所	農産普及課

10 その他

	事業名(=22年度新規事業)	事業の対象	事業の内容	所属名	
1	自治振興交付金(エコライフ地域住民活動推進事業[循環社会推進課])	住民組織	住民組織が中心となって実施するごみ減量・リサイクル、水環境保全、地球温暖化防止などのライフスタイルの変革につながる実践活動および意識啓発活動に要する経費に対して市町へ交付金を交付する。	総務部	自治振興課
2	階層別研修	県職員(新規採用職員)	新規採用職員研修において環境問題に関するテーマを研修内容として組み込む。	総務部	政策研修センター
3	環境学習推進計画の普及	県民すべて	県環境学習推進計画の周知を図り、主体的な環境学習の取組への気運を高めるための普及啓発を行う。	琵琶湖環境部	環境政策課
4	エコ・スクール支援事業	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	環境マネジメントの考え方を学校での環境への取り組みに生かし、地域と連携しながら子どもたちが主体的に環境保全活動に取り組むことを目指す「エコ・スクール」の推進を図る。	琵琶湖環境部	環境政策課
5	環境学習センター運営事業	主に環境学習指導者	環境学習を推進する拠点として、県民の環境学習が効果的かつ適切に実施されるよう、インターネットを活用した情報提供、環境学習推進員による相談支援活動、参考図書等の資料整備などを行う。	琵琶湖環境部	環境学習センター(琵琶湖博物館)
6	淡海こどもエコクラブ活動推進事業	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	情報提供、交流の場づくりなどを実施し、県内のこどもエコクラブの組織・会員の拡大や活動の活性化を図る。	琵琶湖環境部	環境学習センター(琵琶湖博物館)
7	「しがこども体験学校」推進事業	小学1~6年生 事業実施者	「地域が学校、住民が先生」という考え方のもと、自然や地域社会等と関わり合う子どもたちの体験活動を推進する「しがこども体験学校」の取組を周知すると共に、子ども向けの体験プログラムの充実、事業実施者の拡大を図り、体験活動の機会の充実を目的とする。	健康福祉部	子ども・青少年局
8	保育所職員指導事業	指導者(保育士等)	保育所職員(保育士等)に対する研修会を実施する社団法人滋賀県保育協議会に助成するとともに、保育指導員による保育所への訪問指導により環境保育・学習の研修・指導等を実施する。	健康福祉部	子ども・青少年局

9	21世紀淡海子ども未来会議設置運営事業	小学4年以上 中学3年まで	子どもの人権が尊重され、子どもたちが体験学習等を通じて自ら考え、行動する力を引き出すことを支援するとともに、子どもたちが、環境、福祉など身近な地域の問題を題材に主体的に研修活動を行い、「子ども県議会」等を通じて意見を表明する機会を提供する。	健康福祉部	子ども・青少年局
10	びわ湖・里山観光振興特区推進事業	高島市	平成18年4月に認定を行った「びわ湖・里山観光振興特区計画」の推進を図るために、高島市が実施する「特区総合プロデュース推進事業」および「エコツーリズム等モデル事業」に対し補助を行う。	商工観光労働部	観光交流局
11	環境教育研究協議会	教職員	環境教育の具体的な推進の方策を探り、指導に当たる教員の指導力の向上を目指す。	教育委員会	学校教育課
12	淡海生涯カレッジ開設事業	18歳以上の 県民	学習機会を提供する機関との連携・協力を図りながら、広域的で体系的な生涯学習サービスを整備充実するため、環境等をテーマに県内5か所で開催し、日常的な学習から大学の理論的な学習を組み合わせた学習機会の提供を行う。	教育委員会	生涯学習課
13	高等学校等開放講座事業	県民	高等学校等の教育機能を県民に開放し、学習機会を提供する。	教育委員会	生涯学習課
14	学習情報提供システム整備事業	県民	学習情報提供システム「におねっと」による、インターネットでの学習情報の提供および学習相談を行う。	教育委員会	生涯学習課
15	生涯学習推進事業	県民	生涯学習に関する情報を県民に一元的に提供する「しがの生涯学習スクエア」を運営する。また、生涯学習推進員を配置して、生涯学習に関する情報収集・提供・相談および協働のコーディネートを行う。	教育委員会	生涯学習課
16	「地域の力を学校へ」推進事業	学校	「しが学校支援センター」を設置し、地域の様々な人々や企業・団体が、それぞれの持つ豊富な知識や経験を生かして、環境学習など学校教育の場で活動できるしくみづくりを推進する。	教育委員会	生涯学習課
17	子どもの体験活動の機会と場の充実	市町等	「しが子ども体験活動実践交流会」において、地域において子どもの体験活動支援を行う者が集まり、事例発表や意見交流を通じて子どもたちの体験活動の充実や学校支援のための方策等について協議する。	教育委員会	生涯学習課
18	自然体験活動指導者養成事業	県民	自然に親しむ体験活動等の教育的効果を高めるとともに、子どもたちが安心・安全に体験活動を実施できるための指導者を養成することにより、青少年の自然体験活動を推進する。	教育委員会	生涯学習課
19	女性団体活動推進事業	県地域女性 連合会	女性や地域に関わる様々な現代的な学習課題に対する学習機会の充実に補助する。	教育委員会	生涯学習課
20	図書資料等購入事業	県民	県民の求める多種・多様な学習ニーズに答えられるよう県立図書館の各種資料を充実する。	教育委員会	生涯学習課